

新型コロナウイルスの影響に伴う各種対応について



いつもジェットスター・ジャパンをご利用いただきまして誠にありがとうございます。

ジェットスターでは、お客様に安心して安全な空の旅をしていただくための取り組みやお客様へのお願いをまとめた「Fly Well(フライ・ウェル)」プログラムを導入しております。今後お客様の声をもとに、順次本取り組みを強化してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う各国の入国制限や検疫体制のほか、ジェットスター・ジャパン客室乗務員や地上係員などの対応状況を以下の通りお知らせいたします。

1. 機内の空気の清浄性について

機内の空気は、常に機外から新しい空気を取り入れ機内で循環させ、その後、機外へと排出する構造となっており、概ね 2～3 分で全て入れ替わります。またジェットスター・ジャパンが運航する全てのエアバス A320 型機には、医療機関などで使用される高性能空気フィルター(HEPA フィルター)を搭載しているため、0.3 μ m のサイズの粒子を 99.97%以上捕集することができ循環される空気は高い清浄性を維持しています。

2. ご搭乗時のマスク着用をお願い

5月20日より当面の間、7歳未満のお子様や医療上の理由によりマスクの着用が困難なお客様を除き、ジェットスター・ジャパンをご利用されるお客様はマスクの着用が必須となります。新型コロナウイルス感染拡大防止にご理解・ご協力いただけますよう、何とぞよろしくお願いいたします。

【着用エリア】

チェックインカウンターエリアから到着ロビーまで

【着用マスク例】

- 薬局やスーパーなどで販売されている「家庭用マスク」
- 医療用(外科・手術用)マスク
- ハンドメイドマスク

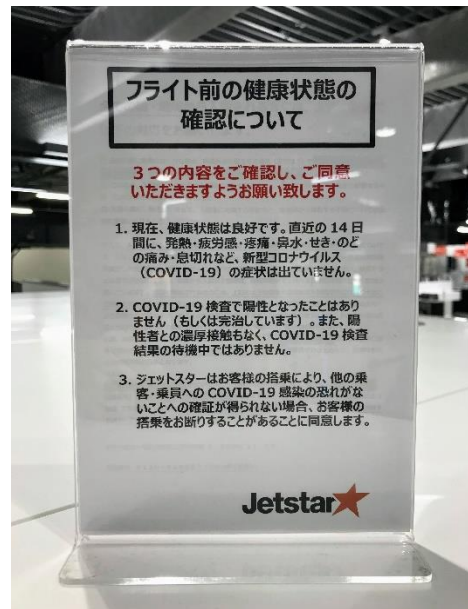
※フェイスシールド、マウスシールドなど、口や鼻を完全に覆うことのできない製品のみでのご搭乗は認められません。これらの製品をご利用の場合でも、必ずマスクの着用をお願いいたします。

3. 機内の客室消毒について

お客さまに安心してご利用いただくために、夜間整備中に、テーブル、窓、ひじかけ、座席周り、頭上のロッカー、トイレのドアノブや蛇口ハンドルなどお客さまの手が触れる部分を、指定のアルコール消毒液を用いて除菌・殺菌しております。(機材繰りにより実施できない場合もございます)

4. お客様の健康状態の確認

新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、有人チェックインカウンターおよびホームページやジェットスターアプリでご搭乗手続き(チェックイン)を行う際、お客様の健康状態を確認いたします。質問内容に該当しない、または発熱や息苦しきなどの症状がある際は、お客様のご搭乗をお断りする場合がございますので、予めご了承のほどお願いいたします。ご予約を変更される場合は、[Fly Well ページ](#)の「ライブチャット」または[お問い合わせページ](#)からご変更ください。



チェックイン時にお客様の健康状態を確認いたします
(例)左:オンラインチェックイン時、右:有人チェックインカウンターでのチェックイン時

5. ソーシャル・ディスタンスの確保

一部空港のチェックインカウンターと搭乗ゲートにはビニールシートを設置しています。列に並ぶ際には2mごとの足元の印に従い、お客様同士の距離の確保にご協力をお願いいたします。また、乗降時や機内でお手洗いをご利用の際には、できる限りのソーシャル・ディスタンスの確保にご協力をお願いいたします。



6. 地上係員のマスク着用

当社が就航している空港の地上係員については、お客さまに安心してサービスを受けていただくためにマスクを着用しております。

7. 客室乗務員のマスクおよび手袋の着用

お客さまに安心してサービスを受けていただくため、キャビンクルーは国内線・国際線の全路線でマスクおよび手袋を着用しております。また、キャビンクルーはフェイスシールドを着用している場合があります。

8. 機内サービスについて

各種地上交通機関の割引チケットを取り扱っている「Jetstar チケット」は、当面、販売を見合わせております。予めご了承のほど宜しくお願いいたします。

9. 空港における検疫体制強化について

日本を含めて各国の空港では、検疫体制強化のため健康確認(発熱、咳、呼吸困難など)が行われているほか、国や地域によっては到着後の隔離措置、交通機関(電車、バス、タクシー、航空機(国内線)など)や宿泊など行動を制限する場合があります。詳しくは、[厚生労働省のホームページ](#)、[外務省海外安全ホームページ](#)や渡航先各国の大使館・領事館および保健機関関連情報など

をご確認ください。

一部の国内空港では国土交通省、地方自治体の要請などに基づき、サーモグラフィーを設置し、航空機に搭乗される方の体温を確認する取り組みを実施しております。状況によりましては、ご搭乗をお断りさせていただくこともございます。

また、当社では感染拡大防止のため、ご搭乗中は常時マスクの着用をお願いしております。お客様のご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。

●日本の検疫体制強化について

なお、厚生労働省は入国した日の過去 14 日以内に『検疫強化対象地域(※1)』に滞在歴(検疫強化対象国として追加された日以降の滞在歴)がある方、『入管法に基づく入国制限対象地域(※2)』に滞在歴のある方に対し、入国の前後で以下の対応をお願いしています。

- 健康状態に異常のない方も含め、検疫所長の指定する場所(自宅など)で入国の次の日から起算して 14 日間待機し、空港等からの移動も含め公共交通機関(電車、バス、タクシー、航空機(国内線)など)を使用しないこと
- このため、入国前に、ご自身で入国後に待機する滞在先と、空港からその滞在先まで移動する手段(公共交通機関以外)を確保すること
- 入国の際に、検疫官によって、入国後に待機する滞在先と、空港から移動する手段について検疫所に登録いただくこと

加えて、検疫強化対象地域として追加された日にかかわらず、入国した日の過去 14 日以内に『入管法に基づく入国制限対象地域(※2)』に滞在歴のある方については、全員に PCR 検査が実施され、検査結果が出るまで、ご自宅など、空港内のスペースまたは検疫所が指定した施設等で、待機いただくこととなります。現在入管法に基づく入国制限対象地域の拡大に伴い、一時的に検査対象となる方が急増しており、到着から入国まで数時間、結果判明まで 1 日～2 日程度待機いただく状況が続いています。なお、陰性となって入国する場合も、入国から 14 日間は、ご自宅やご自身で確保された宿泊施設等で不要不急の外出を避け、待機することが要請されるとともに、保健所等による健康確認の対象となります。

自宅などで検査結果を待つ場合、症状がないこと、公共交通機関(鉄道、バス、タクシー、航空機(国内線)、旅客船等)を使用せずに移動できることが条件となります。事前にご家族やお勤めの会社などによる送迎、お客様ご自身でレンタカーを手配するなどの移動手段の確保を行ってください。なお、検査結果が判明するまで、ご自身で確保されたホテル、旅館等の宿泊施設には移動できません。

(※1) 検疫強化対象地域

2020年4月3日より(※2)「入管法に基づく入国制限地域」を除くすべての国、地域

(※2) 入管法に基づく入国制限対象地域

以下、「8. 日本への入国制限について」における「上陸拒否の対象となる特定地域」ご参照方

詳しくは、[厚生労働省のホームページ](#)をご覧ください。

10. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う各国の入国条件変更について

新型コロナウイルス感染の拡大に伴い各国での検疫体制が強化され、入国条件が厳格化されています。ご利用のお客さまは、[外務省・法務省](#)のホームページならびに渡航先各国の大使館・領事館および保健機関関連情報などをご確認ください。

また、特定の路線において Web チェックインの一部機能および自動チェックイン機の使用を停止させていただく場合がございますのでご了承ください。

11. ウイルス除去・除菌製品のお取り扱いについて

ウイルス除去・除菌製品は、多くの場合主成分が二酸化塩素など腐食性物質(危険物)で構成されており火傷などにつながることから航空機での取り扱いが禁止されているものもあります。お持ち込みの前に必ず製造者に航空機内での取り扱いが可能な製品か否かをご確認ください。安全性の確認できない品物については当日お断りすることもあります。なお、以下対象製品におきましては、機内へのお持ち込みおよびお預けを共にお断りしています。予めご了承のほどお願いいたします。

対象製品: 大幸薬品(株)クレベリン(置き型タイプ、スティックペン・フックタイプ)

およびその類似製品

※ジェルタイプの除菌剤など直接肌につけるものについては、持ち込み・お預けともに可能です。現在、ほか除菌剤における制限はございませんが、今後変更となる場合がございますのでご了承ください。

以上